

第39回

四つの男声合唱の集い



2019年5月6日(月)

兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール

開場: 午後1時00分 開演: 午後1時45分

A アルマ・
マータ・
クワイア

N 南灘会
合唱団

C コール・
アカデミー
関西OB会
(休会中)

O 大阪男声
合唱団

R 六甲男声
合唱団

の

会

1 南漣会合唱団

男声合唱とピアノのための 五つの風景 から

1. 旅人よ (作詞/岩谷時子)
2. 君は今でも (作詞/秋元康)
3. 逍遙歌 (作詞/さだ まさし)
4. 海、その愛 (作詞/岩谷時子)

作曲/弾厚作
編曲/源田俊一郎
指揮/海谷叔伸
ピアノ/石幸千照

2 大阪男声合唱団

男声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」

1. 白い雲—Weiße Wolken—
(ヘルマン・ヘッセ詩/高橋健二訳)
2. わすれなぐさ—Vergißmeinnicht—
(ヴィルヘルム・アレント詩/上田敏訳)
3. 秋—Herbst—
(ライナー・マリーア・リルケ詩/茅野蕭々訳)
4. くちびるに歌を—Hab' ein Lied auf den Lippen
(ツェーザー・フライシュレン詩/信長貴富訳)

作曲/信長貴富
指揮/萩原寛明
ピアノ/内藤菜穂子

3 六甲男声合唱団

Spirituals(スピリチュアルズ)

1. Set Down Servant
2. Dry Bones
3. The Battle of Jericho
4. Deep River
5. Soon Ah Will Be Done

指揮/平林陽



4 アルマ・マータ・クワイア

男声合唱組曲「樅の樹の歌」

1. 春の牧場
2. 金峯山の思い出
3. 故地の花（妻に）
4. 音楽的な夜
5. 樅の樹の歌

作詩／尾崎喜八
作曲／多田武彦
指揮／上床博久

5 合同演奏

「大中恩作品集」から

1. ふるみち (作詩/三木露風)
2. 幌馬車 (作詩/西条八十)
3. こんな夜には (作詩/土田藍)
4. じゃあね (作詩/谷川俊太郎)
5. 草原の別れ (作詩/阪田寛夫)

作曲／大中恩
指揮／田中安夫
ピアノ／島崎央子

ごあいさつ

本日は、ご多用の中、私どもANCORの会の演奏会にご来場いただき、まことにありがとうございます。

昭和55年（1980年）に始まったこの演奏会も、平成の御代を駆け抜け、新しい令和元年を迎えて、本日、第39回を開催することができました。

これもひとえに皆様方の日頃のご支援の賜物と、一同心より御礼申し上げます。

今後も、よりいっそうの研鑽に努め、美しい歌をより美しく、元気な歌をより元気に、歌い継いでゆきたいと存じます。

引きつづきご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

A アルマ・マータ・クワイア	山下 千之
N 南漣会合唱団(本年度幹事団体)	尾崎 納
C コール・アカデミー関西OB会(休会中)	後藤 玲嗣
O 大阪男声合唱団	今村 陽一
R 六甲男声合唱団	加輪上 敏彦



1 南漣会合唱団

男声合唱とピアノのための 五つの風景 から

弾厚作こと加山雄三は、言わずと知れた映画「若大将シリーズ」などで皆様方ご存知ですね。1937年4月生まれで今年82歳になる大スターは、私たち南漣会合唱団団員の世代とも近く、今も第一線で活躍するその姿は憧れの的です。ただ「弾厚作」の名前が、本人の尊敬する二人の作曲家、「團伊玖磨」と「山田耕筰」に由来することはあまり知られていません。彼の作曲による最も有名な曲は、「エレキの若大将(1965年)」の主題歌にもなり、レコード大賞特別賞を獲得した「君といつまでも」(作詞 岩谷時子)ですが、本日は弾厚作作曲の5作品を源田俊一郎が編曲した「男声合唱とピアノのための 五つの風景」のなかから岩谷時子、秋元康、さだまさしが作詞した4曲をお届けします。

「男声合唱とピアノのための 五つの風景」は、紐育男声東京合唱団の委嘱曲として作られ、2014年に初演されました。

①旅人よ (作詞: 岩谷時子, 作曲: 1966年)

「君といつまでも」の翌年に作曲されたもので、初期ののりに乗った若さを感じられる曲です。ベートーベン ピアノソナタ「情熱」第三楽章を引用して編曲した前奏をお楽しみください。

②君は今でも (作詞: 秋元康, 作曲: 2012年)

NHKラジオ『ラジオ深夜便』で「深夜便のうた」として2011年7月から放送された曲で、昔心ひかれた女性を想うラブソングです。

③逍遙歌～そぞろ歩けば～ (作詞: さだまさし, 作曲: 2012年)

テレビ朝日の「若大将のゆうゆう散歩」(2012年9月～2014年9月)のテーマ曲。さだまさし代表作の「案山子」の世界観をイメージして、加山が作詞を依頼した曲といわれています。

④海、その愛 (作詞: 岩谷時子, 作曲: 1976年)

加山は岩谷に「スケールの大きな曲」を依頼したそうです。できた曲は、壮大な海のイメージであり、男の生きざまを歌い上げていますが、歌詞には「男のむなしさ」の言葉があります。その延長には「母よ…ふところに抱き寄せて 忘れさせるのさ やすらぎをくれるのだ」と続き、最終的には女性賛歌となっています。

2 大阪男声合唱団

男声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」

男声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」は東海メールクワイアー創立60周年記念の委嘱作品として作曲され、2005年に初演された。その後、混声合唱や女声合唱にも編曲され、信長貴富の代表作のひとつとなっている。

楽譜のまえがきには作曲者自身により次のように書かれている。

「ロマンティックな音楽を書くこと、これは思いのほか勇気のいることなのです。音楽にひたすら憧れていた少年時代の自分に会いに行くような、愛しさと羞じらいの混じり合った気持ちがあります。しかしながら、それでもロマン的な表現を強く望んだのは、現代という、渴いた時代を潤す歌を書きたいという願いがあったからです。

テキストはドイツ語の名詩とその日本語訳から成っています。ドイツ語によってロマンティックな音像を導き出し、母国語によって懐深くの情感を呼び覚ますというのがねらいです。二か国語が交錯し、融合し、響きに昇華していくさまを思い描きながら作曲しました。どちらかという、詩に忠実に音を付していくというよりは、詩から受けたインスピレーションを音像に変換し、その中に言葉を再発見していくという作業だったように思います。」

第1曲 「白い雲 - Weiße Wolken」

詩人ヘルマン・ヘッセが自身の人生観を、青空を漂う雲に重ねたともいえる詩。躍動感に溢れたピアノの分散和音とともに生き生きと壮大に歌われる。

第2曲 「わすれなぐさ - Vergißmeinnicht」

ヴィルヘルム・アレントの短編詩。静寂を表現するようなピアノに始まり幻想的な情景が歌われる。曲後半の三連符の連続による波の表現が印象的である。

第3曲 「秋 - Herbst」

ライナー・マリーア・リルケによる詩。オスティナート(反復技法)によってひたすらに繰り返される fallen(落下する)。全てが落下するこの上ない絶望。しかしその落下を限りなく優しく支える者の存在が示される。

第4曲 「くちびるに歌を - Hab' ein Lied auf den Lippen」

ツェーザー・フライシュレンの詩による。どんな苦境にあっても勇気を与えてくれる名詩「心に太陽を持って」が、信長貴富の優しく、温かく、力強い音楽で感動的に歌われる。

3 六甲男声合唱団

Spirituals (スピリチュアルズ)

Spirituals (スピリチュアルズ)は「靈歌(黒人靈歌)」と訳されます。17世紀から19世紀にかけて、およそ1,200万人ともいわれる多くのアフリカ大陸の人々がアメリカ大陸に渡航し奴隷状態に置かれました。スピリチュアルズはこういった人々の間で生まれ、広まったキリスト教音楽であり、後の時代の「ゴスペル」とは異なり、多くの曲は作詞者・作曲者がはっきりしていません。まさに、民衆の熱い信仰心と心の叫びの結晶といえるでしょう。

【Set Down Servant】「奴隷よ、座れ」「座れません」「魂が救いの喜びのうちにあるからです」という緊張感に満ちた1曲。神戸大学グリークラブ出身の横山昭氏による秀逸な男声合唱編曲によって幅広く愛されています。

【Dry Bones】預言者エゼキエルが神の命令に従って人骨をつなぎ合わせ、霊を吹き込んだという旧約聖書の物語に基づく歌。骨がつながったり離れたりする様子を半音ずつ上ったり下ったりする編曲で表現したコミカルな1曲。

【Battle of Jericho】ユダヤ民族をエジプトから脱出させるために預言者モーセが遣わした使者ヨシュアが、城壁に囲まれたエリコの街を陥落させる様子を歌った力強さに満ちた1曲です。

【Deep River】「深い河」とは預言者モーセが目指した「約束の地」カナンの手前に横たわるヨルダン川。自由を希求する切なる思いが溢れた名曲です。

【Soon Ah Will Be Done】「すぐにこの世の苦しみは終わる」「母さんに会いたい」「イエス様に会いたい」と繰り返しつつ、感動的なラストを迎えます。時代を超えて歌い継がれる、これぞ魂の叫びの音楽です。(平林 陽)

4 アルマ・マータ・クワイア 男声合唱組曲「樅の樹の歌」

尾崎喜八の詩によるこの組曲は、一昨年12月に95篇の男声合唱組曲をはじめ多数のすぐれた作品を遺して逝去された作曲家でアルマの先輩である多田武彦さんが、その49番目の男声合唱組曲作品として平成元年に作曲されました。初期のころはもっぱら抒情性の強い詩を選んで作曲していた多田さんが、40歳を過ぎたころから深い精神性を追求した詩へ選択の幅を広げて以来、尾崎喜八の詩も沢山取り上げられました。この組曲は、信州富士見高原の自然の中で作られた詩に、信州、甲州の近在の山をめぐる詩を加えて作曲されています。喜八は、太平洋戦争敗戦後の昭和21年から27年までの間、ここ信州富士見で流寓の生活を送り、農村の生活改善や文化向上に大きな足跡を残すとともに、この地でその詩業を完成させました。20年あまり前から喜八を顕彰して富士見町教育委員会が主催する「富士見高原詩のフォーラム」が毎年8月に開かれています。昨年8月に私たちは教育委員会の招きにより、このフォーラムの中で男声合唱組曲「樅の樹の歌」を演奏しました。富士見高原の清涼な空気をたっぷり吸い込んだアルマの演奏をお聴きください。

- 1 春の牧場 春の牧場の片隅の岩に座って思索する尾崎詩人の姿が彷彿とします。
- 2 金峯山の思い出 詩人40歳のころ、友人の登山家と金峯山へ登ったときの思い出を楽しく物語風に綴っています。
- 3 故地の花(妻に) 「富士見で苦労をともにした妻にはこの花が一番いいだろう」と詩人が炎熱の東京で留守を守る妻へ、手紙の中に入れて送った数本の伊吹麝香草。美しいメロディーにのせて歌われる感動の一篇。
- 4 音楽的な夜 8月も半ばを過ぎるとびっしょりと夜露に濡れた草むらには、コオロギやスズムシ、カンタンなどの声が辺りを満たします。
- 5 樅の樹の歌 樅の樹の常緑は「真実」「誠実」「信頼」の象徴。 テノールソロが樅の樹になぞらえて、詩人の真実と信頼の心を歌います。

5 合同演奏

男声合唱曲 大中恩作品集から

人は、出会いと別れとをくりかえしながら年齢を重ねてゆきます。その対象は、肉親はもとより友人、恋人、また仕事上の・・・と多岐にわたりますが、その度重なる出会いと別離を超えて、また新たに旅を続けます。

きょう、取り上げる5曲は、歌曲として作曲され、後に合唱曲として編曲されたものを含む小品ばかりですが、このように並べてみると、あたかも一編の組曲であるかのように思われます。そして同時に、さながら男の、分けても、その大半が文字通り熟年を往く私たち<ANCOR>のメンバーの人生そのものを歌っているようにも思われます。

大中恩は1924年東京生まれ。ご父君は「椰子の実」で有名な大中寅二。「サッチャン」そして、きょう最後に歌う「草原の別れ」の作詞者で作家の阪田寛夫は従弟にあたります。戦後、中田喜直ら5人の作曲家と<くろばの会>を結成。子供たちのための音楽創作をライフワークとし、時代を超えて子供から大人までが愛唱する作品を多数創作。これら童謡のほかにも歌曲、合唱曲にも名曲が数多く残されていて、まさに現代を代表する作曲家のひとりだったのですが2018.12. 3、惜しまれつつ亡くなられ、今回は残念ながら追悼演奏になってしまいました。

冒頭の《ふるみち》は、兵庫県竜野の生んだ詩人、三木露風の第二詩集『廢園』(明治42年刊行)に収められた格調高い詩に作曲されたもので、月光の下に照らし出される轍の痕に自らの来し方を想わせるこの古径こそは、さながらわが胸のようだと言います。抑制の効いた男声合唱ならではのソットヴォーチェと穏やかにして揺るぎないハーモニーが要求される作品です。

粉雪ふる夕べに、はろばろと並木の路を、君を乗せた《幌馬車》が遠ざかるのを見送る絵のような情景。しかし、それは、哀れ、恋の幻に過ぎなかったのか…。「ふるみち」と同様、3部形式で書かれたこの曲にも、自らの胸の内に問いかけるような熱いユニゾンと拡がりを感じさせるハーモニーが巧みに配置され、ひととき激しい動きを見せる中間部を際立たせています。

驚くべきは、この抒情あふれる作品が、戦時下の昭和19年ごろ、上野の音楽学校(現:東京芸大)在学中に作曲されたことを思うとき、作曲者の<歌/音楽>への一途な想いに感嘆の念を禁じ得ません。

次に、恋を知り初めたふたりが、「こんな夜には、手に手をとって、どこまでも、いつまでも歩こう・・・」と歌う《こんな夜には/土田藍:作曲者のペンネーム》の中で、「ふたりの夢は広がり、ふたりの愛は輝く・・・」と若い日を謳歌したふたりにも別離の日は訪れ、「君には君の明日がある、さよならよりもさりげなく、またきっぱりと《じゃあね》と手をふって別れよう」と歌います。

現代詩壇を代表する谷川俊太郎の語りを想わせるこの詩につけられたメロディは、洒落た和声進行と相まって、大中恩独特の世界へ歌う者を誘います。

そして、やさしい風がそっと別れを告げる今、ふるさとに、わが友に「さらば、健やかにあれ!」と歌う《草原の別れ》こそは、単なる別れの歌としてではなく、新たな旅立ちを前にした若者たちへの、そして何よりも自らへの<エール>として歌い上げたいと願っています。(田中安夫)





合同演奏指揮 田中 安夫 (Yasuo Tanaka)

神戸大学教育学部卒業。在学中、グリークラブ指揮者。卒業後は音楽教師として西宮市内の小学校に勤務。1965年度／合唱コンクール小学校の部・全国第1位受賞。作曲を中村茂隆、川口晃の両氏に師事。校歌・園歌をはじめ、子どもたちのための作品ほか合唱曲、編曲多数。
 <合唱団みずぐるま><Coro Platano><神戸少年少女合唱団コスモス>の指揮、東京書籍版小学校音楽教科書編集委員を歴任。
 現在<六甲男声合唱団><Cheery Mamas&Papas><阪神シニアカレッジ：うたごえの会>指揮者。
 <音楽工房：AMP-5> 主宰。



合同演奏ピアノ 島崎 央子 (Hiroko Shimazaki)

神戸女学院大学音楽学部音楽科器楽専攻ピアノ科で学ぶ。1992年同学部を首席で卒業。1993年音楽専攻科を首席で修了。山上明美、ゲイリー・スマイルの各氏に師事。ハンナ・ギュリック・スエヒロ賞を受賞。第62回東京読売新人演奏会に出演。神戸女学院大学オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団と協演。2010年8月、2014年10月には、ベートーベン・ピアノ四大ソナタを一日で連続演奏し、絶賛を博す。阪神大震災復興祈念コンサートは昨年で9回を数え、今年ソロコンサートはアミティホールで7月13日開催予定。また、六甲男声合唱団の伴奏ピアニスト(2006年～)を務めている。

 出演メンバー 

南漣会合唱団

- | | | | | |
|----|------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| T1 | 新 栄一郎
長田幸一郎
吉田教昭 | 岡橋 博
福家伸治 | 寶木健一
松波謙至 | 月川 兆
森本真一 |
| T2 | 今村 肇
菅原基晴 | 尾崎 納
戸田 勝 | 白井清貴
長谷部資朗 | 白石太良
宮内 泰 |
| B1 | 石原潤一
出口順三 | 太田一忠
服部栄治 | 瀧井尚志
花澤光正 | 辻 秀郎
横田卓郎 |
| B2 | 赤崎弘平
海谷叔伸
牟田岑男 | 今道隆夫
曾家義晴
森田 清 | 扇田 豊
田中彰一
安井 永 | 小倉 裕
松井繁明
和田 昭夫 |

六甲男声合唱団

- | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|----------------------|-----------------------|
| T1 | 小林和生
松岡茂雄 | 後久義昭 | 佐々木英洋 | 西本憲生 |
| T2 | 大隅国雄
肥塚禎夫
平林 陽 | 河原 達
白川秀司
丸尾嘉重 | 川本昭男
寺井洋一 | 桐ヶ窪卓
花岡亜光 |
| B1 | 浅野 洋
佐々木道治
松井嘉和 | 伊原吉之助
丹下豊吉
山本和洋 | 大谷 遷
藤澤隆博
山本 稔 | 加輪上敏彦
前田豊治
吉永豊彦 |
| B2 | 東 尚良
奥村 隆
坪内啓二
増川真澄 | 石井陽一
小林康男
徳重光彦
三木邦夫 | 市村重勝
佐藤敏弘
永井哲郎 | 井上和雄
田中安夫
長央徳太郎 |

大阪男声合唱団

- | | | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| T1 | 多田晴彦
山口三樹
川島颯太 | 岡田伸太郎
木下義和 | 栗山和郎
平木秀男 | 上田勝己
内田裕樹 |
| T2 | 子安一男
藤本好司
本間真人
新村大輔 | 名迫行康
詠田英夫
明渡 寛
青木雄太 | 田村坦之
豊原 力
野上貴弘 | 細谷正純
久米勝彦
高橋宏明 |
| B1 | 近藤 毅
荒木正雄
山田雅朗 | 今村陽一
片桐知之
池田直昭 | 田口孝人
橋本達弥
安田玄一郎 | 榊田征也
今井孝至 |
| B2 | 中野洋介
松宮 啓
大和俊哉 | 江村和朗
樋口久夫
坂田裕二 | 前川治治
望月和彦
石井大介 | 大海 治
佐々木泰介
田中大裕 |

アルマ・マータ・クワイア

- | | | | | |
|----|-----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| T1 | 上床博久
久保田秀男
町田信雄 | 大内 誠
坂井俊朗
松浦 功 | 大澤 孝
築村佳典
的場輝佳 | 日下部健介
林 茂紀
山田裕史 |
| T2 | 有井康夫
谷野敏雄
前田康夫 | 海上正彦
中塚 等
吉里文雄 | 宇野日出男
福田 伸 | 奥 泰夫
古川 浩 |
| B1 | 芦田 寛
木本実美
野村美夫 | 上野晴夫
小寺祥雄
畑山勝明 | 香川 睦
杉本 修
山本章夫 | 北島政憲 |
| B2 | 鮎川伸夫
富田勇一
増田 博 | 石橋克己
中山博之
森崎 実 | 川口義行
西岡 章
山下千之 | 竹山清明
西村 勝
山下恒夫 |

コール・アカデミー関西OB会 (合同演奏に参加)

- | | |
|----|-----------|
| B1 | 後藤玲嗣 |
| B2 | 鈴木節士 八木雅司 |

ANCOR